

下記のとおり、説明会を開催し、主な質疑回答の概要をまとめました。

日時	会場	参加人数
令和7年7月5日(土) 15:30~17:00	渚南町集会所	7名
令和7年7月13日(日) 10:30~12:00	禁野小学校体育館	60名
令和7年7月13日(日) 15:30~17:00	中宮第3団地集会所	25名

事務局:総合政策部 行革推進課、危機管理部 危機管理対策推進課、
子ども未来部 まるっとこどもセンター、総合教育部 教育政策課、
枚方寝屋川消防組合総務部 企画戦略課

消防署について

Q1:10年ほど前に消防本部が移転したと思うがまた移転するのか。

A1:今回活用案として挙げているのは枚方消防署の移転であり、消防本部は現在の位置のままです。

Q2:なぜこの場所に消防署を移転することになったのか。出動回数が増え、サイレンの音が大いのではないのか。

A2:消防署の移転場所の条件として、消防庁舎と訓練が一体的にできる面積や、災害に強く緊急交通路に面した立地があり、5分程度での消防救急の体制を維持するために、地域バランスも考慮して1つの候補地案として選定しました。

候補地の数百メートル先には渚出張所が既にあり、移転予定の消防署の方が大規模ではあるものの、救急車の出動回数は現状とそこまで変わらない見込みです。一方で、サイレンの音については住宅モードサイレンの運用や出動直後はサイレンを鳴らさない等の運用を検討していきます。

Q3:消防署のサイレンの音などにより、自宅等の資産価値が下がらないかが心配であるが、どのように考えているのか。

A3:資産価値の評価についてのコメントはできないが、現在も渚出張所が近くにあります。今後枚方消防署を移転したときには、出動時に音を下げるといった運用で対応していきたいと検討しているところです。なお、消防署、一時の避難場所、物資集積所ができることで地域の防災力は確実に上がるものと考えています。

(意見のみ)現在も渚出張所が本校の北側にあり、サイレンの音に関しては日常として慣れている。また、安心感を持つことができる。地域の防災力も上がるし、消防署にはぜひ来てほしい。

(意見のみ)サイレンの音を騒音と感じたことはあまりない。ただ、住宅モードの提案をするのであれば、実際に救急車を持って来て音量の差を示してほしい。

(意見のみ)消防団員として大規模災害訓練を行ったのだが、実際の災害時には通報が殺到して出動が追いつかないのではないかと感じた。消防署が近くにあれば、地域が救助してもらえる可能性は上がると感じている。

サイレンの音の関係については、渚出張所と比べると若干出動回数が増えるだろうが、そこまで響かないと思うので、現状とあまり変わらないのではないかと考えている。

一時的な避難場所について

Q1:一時避難について、地震以外のときにも避難できるようにしてもらえるか。

A1:運用方法はまだ決まっていますが、例えば台風時にも使えるように考えています。ただし、今後は新禁野小学校が正式な避難所となり、こちらはあくまで一時的な避難する場所となります。

Q2:この避難場所の災害時の備蓄品はどのようなになるのか。テントのようなものなどはあるのか。

A2:避難所ではなく、あくまで一時的な避難場所であるため、備蓄品を置くことは想定していません。また、現在建設中の禁野小学校が正式な一次避難所となるため、そこには備蓄品を置く予定です。

児童相談所について

Q1:説明にあった児童相談所と市駅前に設置されている「まるっとこどもセンター」との棲み分けはどのようなのか。

A1:現在児童相談所とまるっとこどもセンターの細かな機能分担を検討しているところで、今後改めて市民の方や関係機関に周知させていただく予定です。

Q2:今後枚方市が児童相談所を新設した際には、寝屋川市にある大阪府中央子ども家庭センターと連携していくのか、或いは独立して事業を実施するのか。

A2:基本的には枚方市の子どもは新設する児童相談所に対応しますが、大阪府中央子ども家庭センターとも連携していく考えです。

Q3:消防署と児童相談所の施設が隣接することについて、音など問題はないのか。

A3:児童相談所としては、音に関しては運用の中で対応が可能であると考えております。

(意見のみ)児童相談所と消防署が隣接しているメリットとして、例えば、災害時の対応で、精神的不安定な子が、より安心感を持てるという点はメリットだと思う。それ以外にも、訓練施設を体験できるというようなことがあればよいと思うのでその辺りも考えてもらいたい。

Q4:同じ敷地内に、児童相談所と消防署と体育館が存在することの、禁野校区にとってのメリットやデメリットを知りたい。

A4:校区のメリットとしては、24時間消防署員が配置されることにより、地域の安心安全に繋がり、また児童相談所についても24時間職員が配置され、災害発生時の地域ケアとして貢献できるのではないかと考えています。

デメリットにつきましては、消防署から発せられる訓練時の音やサイレンの音が、人によってはデメリットになりうるかと考えています。

Q5:児童相談所・一時保護施設については、一般的にどのような場所に建てられるものなのか。

A5:児童相談所については、相談の行政機関であるため、他市では利便性の高い中心市街地に設置していることが多く、一時保護施設については、児童相談所と連携して支援を行うことが重要であるため、児童相談所と隣接しているところが多いです。

(意見のみ)これから大規模災害が予測される中、子どものケアは避難所ではなかなか手が回らない状況だと聞くので、そうしたときに近くに専門部署があるということは有意義な面もある。

プールについて

Q1:全国的に学校プール授業を民間に任せる方向だが、枚方市は現状どうなっているのか。また建設予定のプール施設はどのように活用する予定か。

A1:枚方市のプール授業の民間活用は令和4年度からスタートし、現時点で約3分の1の小学校で実施しています。今年1月に策定した「小学校水泳授業民間活用に関する基本的な考え方」により、全校に拡大していきたいと考えています。

Q2:プール施設の活用は地元の強い要望で検討していただいていると聞いたことがあるが、個人の意見としては反対だ。スポーツ施設ができると車がたくさん集まってくることが予想されるので、大規模駐車場にしてもらいたい。そうすれば大規模災害とかあったときにも対応できるのではないか。

A2:枚方市では、小学校の水泳授業の民間活用を約3分の1ほどの小学校で実施をしています。中部地域については周辺にスイミングスクールが少ないため、周辺の複数小学校の水泳授業を実施してもらうことで、水泳授業の民間活用の円滑な実施ができると考えています。

Q3:今建設している禁野小学校にプールはできるのか。

A3:小学校の水泳授業を民間のスイミングスクールに順次委託していて、その一環の対応で新しく建設される禁野小学校にはプールがない設計となっています。

(意見のみ)プールの部分も含めて消防署にした方がよいのではないか。

スポーツ施設について

Q1:スポーツ施設については、具体的にどのような利用方法となるのか。

A1:具体的な運営手法、内容については現時点では決まっています。

Q2:スポーツ施設として運営するなら、駐車場や更衣室、休憩スペース、渚体育館とか、総合体育館にあるようなジムを要望したいと思います。地域住民が利用するものは既存施設を残すだけのものとならないようにしていただきたい。

A2:今後の具体的な検討に向けて参考にいたします。

その他

Q1:旧中宮北校区の住民から、地域で使えるような施設を部分的に残してほしいという意見が出ている。その点について今のところ考えはあるのか。

A1:要望をいただいていることは認識しています。現段階で結論は出せていないのですが、引き続き検討を行い、今後報告をさせていただく考えです。

Q2:以前、地域の要望として管理棟を残してほしいと伝えたがどうなったのか。地元の集まる場所をぜひ作ってほしいという意見が優先順位第1位であるがどうか。

A2:現在活用案として示しています児童相談所・一時保護施設は、既存の管理棟をそのまま活用することが施設の構造上難しいことや、管理棟の老朽化も踏まえ、除却した上で新しい建物を建てていきたいと考えています。

地域の方が集まる場所については、今後必要とされる規模等々を確認し、新たに設置する施設の一部となるのかも含め、各施設の設計等を進めながら検討していきます。

(意見のみ)地域が利用できる施設を、どこかの施設のスペースにいただきたい。

Q3:跡地活用イメージ図にある新設道路や通路は車が通るのか。また、この道ができると私道を通らないよう要請している近隣の学生が私道を通る可能性が高まるのではないか。

A3:今後複数の施設が建設された際、車の搬入が必要となることを想定した道路で、プールや体育館が利用できるまでの道路の予定です。その先は通路という表現としており、歩行者用となります。

今回、地域からの要望として、今後、新禁野小学校に通学する際の通学路として使いたいということも伺っており、それを踏まえてこの通路を作る予定をしています。

Q4:現状でもバス通りが渋滞している中、これだけの施設が新設されるとより渋滞が発生するのではないか。そのため、新設道路を端から端まで作って二車線で車両が通行できるようにしないと混雑してしまうのではないか。

A4:現在、UR団地から通り抜けできる道路の設置を認められていない状況です。

Q5:新設される道路について、禁野小学校の建設が終わり移転するタイミングで、すぐに通学路として使えるようになるのか。

A5:閉校後に道路を新設し、一定の安全性が確保できてから利用していただく予定であり、移転後すぐには利用していただけません。その間の通学路については、教育委員会が安全に学校へ通学できるよう検討しています。

Q6:新設される通路のことで自転車でも通れるようになるのか。

A6:現在UR都市機構と協議しているところであり、第3団地と行き来が自由できるかは未確定です。自転車に乗ったまま通れるのか、降りて押していただくことになるかについては、今後協議していきます。

Q7:新設道路について、ここには歩道も作ってもらえるのか。両側にしっかり作ってほしい。

A7:以前より安全対策についてご意見はいただいております、歩道の設置も踏まえた上で、設計を進めてまいります。

Q8:新設道路について、上下水道局も道を新設すると聞いているが、施設の利用者も増え、さらに通路を新設するのか。

また、施設に職員が勤務され、どのような職員規模になるのかを説明していただきたい。

A8:上下水道局が整備する通路については、建設される浄水場の北側の方に整備される予定と聞いています。今後、上下水道局と情報共有し、UR都市機構との協議を順次進めてまいります。

各施設の職員数の予測に関してですが、体育館やプールについては運用方法が現時点で明確になっていないため、予測しづらい状況です。

枚方消防署については、常時日中に滞在している職員は15人程度であり、交代制勤務職員15人を含め、日中は30人程度を想定しています。

児童相談所・一時保護施設については、現段階では合わせて交代要員を含めた全員で130名程度と考えています。

(意見のみ)消防署と児童相談所の正面玄関にあたる既存道路の歩道がかなり狭いので、その整備もしてもらいたい。

UR都市機構内の道は私道だが、災害時にはしご車が通れるような道路を作ってほしい。

Q9:全体の面積がどれぐらいで、各施設の大きさはそれぞれどのくらいになるのか。

A9:今後、現況調査を行い、各施設の必要な面積等を検討していくため、その都度情報を提供し、ご意見をいただきながら事業の具体化を進めていきたいと考えています。

Q10:新しい建物が何階建てになるのか知りたい。

A10:消防庁舎については4階建てで、児童相談所・一時保護施設については現在検討中です。

(意見のみ)枚方市役所庁舎の建て替えの話が現在出ているが、この跡地活用については建替後に行うべきだと思う。消防署と児童相談所を市役所の近くに設置する方が自然なのではないのか。この地域でいろいろ問題点を出しよって、よりよい方向性を持っていくのが非常に大事ではないかと考える。

(意見のみ)8年前に大阪北部地震が発生した際、当期中宮北小学校には4日間で70名が避難していた。それを踏まえて、私は避難できる体育館や管理棟を残してほしい、災害時に水がいるからプールを残してほしいという要望を伝えた。そして現在、こうした方向性で進んでいる。

ただ、現在は消防署や児童相談所が建設されるという案について、地域の皆さんに考えてもらいたい。

Q11:残地については売却するとあるが、活用案を見ていると残地は若干しか生まれないように見えるが、本当に売却できるのか。

A11:まず、今後現地の測量や調査を行い、各施設の面積や道幅を決定していく中で残地が発生する可能性があります。その場合にも、地域の方々にご説明させていただき、ご意見をいただきながら活用を検討した結果、売却する可能性もありうると意味で記載させていただいています。

(意見のみ)残地が出た場合の話があったが、地域としては枚方市がこのような方向で進めていきたいということであれば、協力できることはするつもりだ。残地が出た場合には、地域のために何かできることがないかということを知りたい。

Q12:地域の意見を聞くと言っていたが、具体的にどのように意見を吸い上げてもらえるのか。

A12:今回3回実施する説明会でいただいたご意見を庁内で検討していくことや、今後の進捗に合わせて情報提供を行い、都度ご意見をいただきながら事業の具体化を進めていきたいと考えています。

Q13:ここに消防署を作りたいのか、児童相談所をつくってもいいのかということについて、この校区でアンケート調査を取ってほしい。

A13:地域の声を聴く方法として、アンケート調査もあると思いますが、消防署や児童相談所は市全体で、この地に設置する必要があると考えており、早期に整理する必要があります。今後も地域からのご意見や心配事などを聞きながら、市としてなるべく事業の具体化を進めていきたい。また、意見交換を行いながら進めていければと考えています。

(意見のみ)先ほど意見のあったアンケートだが、行政が進まない所以我は反対だ。消防署をここに移転というのは理解できなくはない。他の候補地である伊加賀や氷室に消防署を移転させても出勤が大変だと思う。伊加賀だと浸水被害も考えられる。市街地以外だと淀川沿いか山沿いになってしまうので、どちらも枚方市の両端になってしまう。

30年ほど前から小学校の統廃合の話は聞いていたが一向に進まず、今回ようやく中宮北小学校と高陵小学校が統合された。騒音の問題、車両関係、混雑、児童相談所では誰かが乗り込んできたとかいう問題も発生するかもしれないが、市として住民に細かな説明はしていただきたいが、人口が減っている中、市としてしっかり進めていってほしい。

Q14:現在の禁野小学校は投票所になっているが、その機能は建替え後どうなるのか。

A14:今後検討していきたい。

Q15:中宮北小学校の体育館近くに木や植物がたくさん植わっているが、それらはどうなるのか。

A15:新しい施設を整備するにあたって、既存の樹木や植栽を撤去せざるをえないこともありますが、体育館周辺やプール施設の付近については可能な限り残していきたいと考えています。

(意見のみ)高陵小学校は何も残っていないが、中宮北小学校の門の向こう側にある木が生えている部分を、中宮北小学校の名残として残してほしい。